

第32回 京都市自殺総合対策連絡会 次第

日 時 令和8年9月18日（金）午前10時～12時
会 場 京都市役所分庁舎4階 第1・第2会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 各機関・団体等の自殺対策の取組について
- (2) 京都市こころの健康づくりに関する意識調査について

3 報 告

令和7年の自殺者数（警察庁統計（確定値））について

<資 料>

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 資料1 | 京都市における自殺対策の取組 |
| 資料2 | 京都市こころの健康づくりに関する意識調査項目 |
| 資料3 | 令和7年の自殺者数（確定値）
（別紙）令和7年の自殺者数 |

第32回京都市自殺総合対策連絡会 出席者名簿

令和8年9月18日（金）

区分	機関・団体等	職名	氏名
学識経験者	京都大学大学院 医学研究科 健康情報学	教授	中山 健夫
市民公募委員	—	—	森 晃
地域	（一社）京都市老人クラブ連合会	常務理事・事務局長	中山 英之
	（福）京都市社会福祉協議会 地域福祉推進室	参加支援部部長	前田 えり子
教育機関	京都市立小学校長会	京都市立梅津北小学校 校長	竹田 敏宏
	京都市立中学校長会	京都市立梅津中学校 校長	菊地 順維
	京都府私立中学高等学校連合会	事務局長	三科 俊一
企業・職場	京都労働局労働基準部健康安全課	統括特別司法監督官 （併任）地方労働衛生専門官	山田 英輔
	独立行政法人健康安全機構 京都産業保健総合センター	副所長	山中 広嗣
保健医療機関等	（公社）京都府看護協会	常任理事	乾 啓子
司法等	京都弁護士会 人権擁護委員会	自殺対策部 部会員	山口 亮
	京都司法書士会 セーフコミュニティ支援委員会	副委員長	浅井 健
	京都府警察本部 人身安全対策課	企画係長	伊藤 剛義
関係団体等	（福）京都いのちの電話	事務局 理事・事務局長	鈴木 工
	こころのカフェきょうと（自死遺族サポートチーム）	前代表	中村 智恵
	（一社）京都府臨床心理士会	会長	金山 由美
	認定特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター	理事	廣谷 ゆみ子
	京都光華大学	キャリア形成学部 学生	金子 陽香
京都市	教育委員会 指導部 生徒指導課	担当課長	相原 祐
	南区役所 保健福祉センター	保健福祉センター長	後藤 弘雅
	保健福祉局 福祉のまちづくり推進室	重層的支援体制・ケアラー支援 推進課長	小野 等
	こころの健康増進センター （事務局）	所長	市川 佳世子
		相談援助課長	上領 孝枝
		相談援助係長	山脇 智代
		係員	馬場 朋子
	保健福祉局 障害保健福祉推進室 （事務局）	室長	阪本 一郎
		施設福祉課長	三本松 賢
		精神保健福祉係長	北村 篤司
		係員	奈良井 梓
		係員	杉谷 明澄

（敬称略）

第32回京都市自殺総合対策連絡会
令和8年9月18日(金)

福祉のまちづくり推進室
重層的支援体制・ケアラー支援推進課長
小野 等

教育委員会 指導部 生徒指導課
担当課長 相原 祐

南区役所 保健福祉センター
センター長 後藤 弘雅

会長
京都大学大学院 教授 中山 健夫

市民公募委員 森 晃

(一社)京都老人クラブ連合会
常務理事・事務局長 中山 英之

(福)京都市社会福祉協議会
地域福祉推進室 参加支援部
部長 前田 えり子

京都市立小学校長会
京都市立梅津北小学校
校長 竹田 敏宏

京都市立中学校長会
京都市立梅津中学校
校長 菊地 順維

京都府私立中学高等学校連合
事務局長 三科 俊一

京都労働局労働基準部健康安全課
統括特別司法監督官(併任)地方労働衛生専門
山田 英輔

独立行政法人健康安全機構
京都産業保健総合センター
副所長 山中 広嗣

京都府警察本部
人身安全対策課 企画係
係長 伊藤 剛義

(福) 京都いのちの電話
事務局 理事・事務局長
鈴木 工

こころのカフェきょうと
(自死遺族サポートチーム)
前代表 中村 智恵

(一社)京都府臨床心理士会
会長 金山 由美

認定NPO法人
京都自死・自殺相談センター
理事 廣谷 ゆみ子

京都光華大学
キャリア形成学部 学生
金子 陽香

(公社)京都府看護協会
常任理事 乾 啓子

京都弁護士会
人権擁護委員会 自殺対策部会
部会員 山口 亮

京都司法書士会
セーフコミュニティ支援委員会
副委員長 浅井 健

(事務局)

(敬称略)

障害保健福祉推進室
精神保健福祉係長
北村 篤司

障害保健福祉推進室
施設福祉課長
三本松 賢

障害保健福祉推進室
室長 阪本 一郎

こころの健康増進センター
所長 市川 佳世子

こころの健康増進センター
相談援助課長 上領 孝枝

こころの健康増進センター
相談援助係長 山脇 智代

(事務局)

障害保健福祉推進室
杉谷 明澄

障害保健福祉推進室
奈良井 梓

こころの健康増進センター
相談援助課 馬場 朋子

京都市自殺総合対策連絡会設置要綱

(目的)

第1条 自殺対策基本法を踏まえ、行政や関係機関・団体が連携共同し、総合的な自殺対策を推進し、「すべての市民が心身ともに健やかにくらすまち京都」を実現するため、「京都市自殺総合対策連絡会」（以下「連絡会」という。）を設置し、その運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会議の役割)

第2条 会議は次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 自殺総合対策の検討に関すること
- (2) 自殺総合対策推進のための情報交換及び連携協力に関すること
- (3) その他自殺総合対策の推進に関すること

(構成)

第3条 会議は、第1条の目的に賛同し、そのための活動を積極的に行う別表の団体、学識経験者等及び公募により参加した市民委員等（以下「構成団体等」という。）で構成する。

2 学識経験者及び公募により参加した市民委員の任期は、2年とする。

(会長及び副会長)

第4条 連絡会に会長及び副会長各1名を置く。

- 2 会長は、構成団体等の中から互選によって定める。
- 3 会長は、連絡会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、構成団体等の中から会長の指名により選出する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会 議)

第5条 連絡会は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 議長は、必要がある時は、連絡会に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

(ワーキンググループ)

第6条 連絡会にワーキンググループを置くことができる。

- 2 ワーキンググループの構成員は、会長が別に定める。
- 3 ワーキンググループは、自殺対策に関する具体的な検討や連絡会に付議する事案の調整を行う。
- 4 ワーキンググループは、検討結果を連絡会に報告する。
- 5 ワーキンググループに座長を置き、ワーキンググループ構成員の互選により選任する。
- 6 座長は、ワーキンググループを代表し、その事務を総括し、会議の議長となる。
- 7 ワーキンググループは、必要に応じ座長が招集する。

(庶務)

第7条 連絡会の庶務は保健福祉局障害保健福祉推進室に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、連絡会及びワーキンググループの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は平成19年11月5日から施行する。

この要綱は平成 21 年 12 月 25 日から施行する。
この要綱は平成 22 年 7 月 6 日から施行する。
この要綱は平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
この要綱は平成 24 年 9 月 10 日から施行する。
この要綱は平成 25 年 9 月 9 日から施行する。
この要綱は平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
この要綱は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
この要綱は平成 29 年 5 月 8 日から施行する。
この要綱は平成 30 年 10 月 1 日から施行する。
この要綱は令和 元年 5 月 1 日から施行する。
この要綱は令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
この要綱は令和 7 年 12 月 26 日から施行する。
この要綱は令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

(別表)

京都市自殺総合対策連絡会 構成機関・団体等

機関・団体等		
学識経験者		
市民公募委員		
団 体 ・ 機 関 の 代 表	地 域	京都市PTA連絡協議会
		京都市保健協議会連合会
		(一社)京都市老人クラブ連合会
		(福)京都市社会福祉協議会
	教育機関	京都市小学校長会
		京都市立中学校長会
		京都府私立中学高等学校連合会
	企業・職場	京都商工会議所
		京都労働局労働基準部
		独立行政法人労働者健康安全機構 京都産業保健総合支援センター
	保健医療機関等	(一社)京都府医師会
		(公社)京都府看護協会
	司法等	京都弁護士会
		京都司法書士会
		京都府警察本部
	関係団体等	(福)京都いのちの電話
		こころのカフェきょうと (自死遺族サポートチーム)
		(一社)京都府臨床心理士会
		認定特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター
		京都光華大学
	京都市	教育委員会 指導部生徒指導課 体育健康教育室
		保健福祉センター
		保健福祉局福祉のまちづくり推進室
	事務局	保健福祉局こころの健康増進センター 保健福祉局障害保健福祉推進室

令和 8 年度 京都市における自殺対策の取組

1 普及啓発・教育地域づくり（事前予防 prevention）

① 普及啓発

1	市民を対象とした講演会 ○ゲートキーパー養成研修（9月9日開催 中止） 身近な人の SOS に気づいたら一気づき・声かけ・聴き・つなぎ・見守る— ○依存症市民講座（7月2日開催 114名） 若者に広がるオーバードーズ～実態を理解し、できることを考える～ ○アルコールと健康を考えるセミナー
2	電子媒体による情報発信 ○ホームページ、「ストレスマウンテン京都市版」等による啓発、検索連動型広告、SNS 広告を活用した相談窓口情報の発信 ○LINE 公式アカウント「われらは京都市ゲートキーパーズ」からの情報配信 ○「大学のまち京都・学生のまち京都」公式アプリ KYO-DENT からの情報発信
3	国保だより掲載「今日からあなたもゲートキーパー!!」（令和 8 年度号）約 20 万世帯に配布
4	各区こころのふれあいネットワーク事業による自殺予防についての啓発
5	市役所分庁舎 1 階ロビーでのパネル展示：9 月 2 日～16 日 市役所本庁舎、京都府庁共同ライトアップ：9 月 10 日～16 日
6	きょうと市民しんぶん掲載（全市版 9 月号） 自殺予防週間の取り組み 約 63 万部
7	きょう いのち ほっとブック事業（9 月 市内 20 図書館にて開催） 同時開催 本の処方箋カード「いのちと本～ことばに、ひと息つく場所」
8	絵本セラピー～絵本で心に出会う時間～（10 月 8 日開催予定）
9	アルコール・薬物依存症者対策の推進 講演会・研修会の実施（再掲）、自助グループの支援

② 人材育成・教育

1	ゲートキーパー養成等のための研修 ・市民、市職員、その他の関係機関等を対象とした研修を実施 ・ゲートキーパー周知強化事業 ゲートキーパーについて動画で学んでいただいた方に、特典として抽選でプレゼントをお渡しする事業 ・＜動画教材の配信＞ こころの健康増進センターにおいて、 <u>ゲートキーパー養成研修動画</u> （約 25 分）を作成（令和 6 年 10 月） ○京都精華大学共通教育機構 学生相談室室長 准教授 川本静香氏の講演動画（題目：ゲートキーパーって何？） ○きょうと動画情報館に掲載。再生回数：2,350 回（令和 8 年 8 月末現在）
2	大学生向けゲートキーパー養成研修の実施 京都橘大学（10 月 14 日予定） 京都府立大学（11 月 25 日予定）
3	「かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会」の実施（市内全域で 1 回） （12 月 10 日開催予定）

4	一般科医・精神科医ネットワーク交流会（G-P ネット）の実施（1回） （6月27日右京医師会と共催で開催 39名）
5	医療機関と連携した自殺未遂者・ハイリスク者支援・医療従事者支援者養成研修 （11月6日開催予定）
6	大学と連携した教職員の研修等 若者のところに寄り添う支援者への研修会（8月5日 65名） 自分を傷つけてしまう子どもたちの理解と支援～支援者のセルフケアとともに～
7	京都いのちの電話相談員養成確保事業（補助） 自殺予防のための電話相談員の安定的な確保を目的に、令和7年度から、従前からの養成研修運営費に加え、新たに研修受講料と通勤費の一部についても補助対象とした。

③ 関係機関連携

1	京都市自殺総合対策連絡会の開催（9月18日、令和9年3月予定）
2	京都市自殺総合対策庁内推進会議の開催（令和9年3月予定）
3	京都市地域自殺対策推進センターの運営
4	京のいのち支え隊への参加
5	京都市教育委員会生徒指導課への研修 事例検討会（8月31日）

2 相談支援・スクリーニング・リスクアセスメント（危機対応 intervention）

1	自死遺族・自殺予防こころの相談電話（きょう・こころ・ほっとでんわ）」の運営 開設時間：平日9時～16時（土日祝除く）
2	電話相談後のフォロー体制の確保 自死遺族・自殺予防こころの相談電話（きょう・こころ・ほっとでんわ）」で把握した、専門的な悩みを持つ市民を、適切な専門相談窓口確実に繋ぐことができる体制を確保する。
3	「きょう ほっと あした～くらしとこころの総合相談会～」の開催 自殺総合対策連絡会に参加している団体と連携し、相談会を9回実施（平日相談：年間7回、土曜相談：年間2回予定）。学生及び初回相談者の予約を優先して実施。
4	相談員に対する研修会
5	メール相談事業（補助）
6	「かかりつけ医・産業医うつ病対応力向上研修会」の実施（市内全域で1回）（再掲）
7	医療機関と連携した自殺未遂者・ハイリスク者支援・医療従事者支援者養成研修（再掲）
8	京都府自殺ストップセンターと連携による相談支援

3 遺族支援（事後対応 postvention）

1	「自死遺族・自殺予防こころの相談電話（きょう・こころ・ほっとでんわ）」の開設（再掲）
2	こころのカフェきょうと（自死遺族サポートチーム）への支援 ・例会（分かち合いの会）の案内 ・こころのカフェきょうと「フリースペース」への支援
3	医療機関と連携した自殺未遂者・ハイリスク者支援・医療従事者支援者養成研修（再掲）

京都市こころの健康づくりに関する意識調査 調査項目イメージ

※ 今後、委託業者等からの意見等も考慮のうえ、調査票を作成する。

設問		備考
1 回答者属性		
1	性別	
2	年齢	70～74 歳／75～79 歳 80～84 歳／85 歳以上の項目を追記
3	職業（雇用形態）	
4	勤務先の規模（従業員数）	
5	住まい方（同居、一人暮らし）	
－1	同居家族	
6	居住区	
7	睡眠の充実度	

（調査票イメージ）

問2 あなたの年齢を教えてください。（1つに○） ←

1. 20歳未満	2. 20～24歳	3. 25～29歳 ←
4. 30～34歳	5. 35～39歳	6. 40～44歳 ←
7. 45～49歳	8. 50～54歳	9. 55～59歳 ←
10. 60～64歳	11. 65～69歳	12. 70～74歳 ←
13. 75～79歳	14. 80～84歳	15. 85歳以上 ←

2 アルコールについて		
8	飲酒頻度	
－1	飲酒量	
9	アルコール問題に対する理解の状況	
3 ストレスについて		
10	普段の1週間の就業時間（残業・副業含む）	
11	最近1ヵ月の悩み・ストレスの有無	
－1	悩み・ストレスの内容	
12	悩み・ストレスの対処方法	
13	現在の幸福感	
4 からだとこころの健康状態について		
14	からだの健康状態	
15	こころの健康状態	
16	自己肯定感	
17	居場所の有無	
－1	居場所の内容	
18	孤独感	

5 不安や悩みについて		
19	不満・悩みの傾聴者	
20	物質的・金銭的支援者	
21	不満・悩み相談の抵抗感	
22	不満・悩み相談を受ける頻度	
ー1	不満・悩み相談を受ける相手	
23	不満・悩みの相談相手になることへの積極度	
24	地域との関係	
25	職場におけるメンタルヘルス対策	
26	悩み相談先の認知状況	選択肢に「各種インターネット・SNS相談」を加える
27	相談窓口の利用意向	
ー1	相談窓口を利用しない理由	
28	相談窓口を利用した満足度	
29	インターネット、SNSを活用した京都市のこころの相談窓口の啓発事業の認知状況	
30	深刻な悩みを抱えたときに、京都市のこころの相談窓口の情報は入手しやすいと思うか	
31	相談先の把握方法	選択肢に「SNS検索」を加える
	ICT（インターネットやSNS等）の相談を利用したいと思うか	新設
	AIの相談を利用したいと思うか	新設
	→なぜそう思うか	新設
6 こころの健康や病気について		
32	自殺したいと考えたことの有無	
ー1	最近1年の自殺意向	
ー2	自殺したいと考えた理由	
ー3	新型コロナウイルス感染症との関連	
ー4	自殺を思いとどまった要因	
33	周囲の自殺者の有無	
34	自殺相談への対応方法	
35	「ゲートキーパー」の認知状況	
36	自殺実態の認知状況	
37	「自殺は個人の問題」という考え方への評価	
38	自殺対策の社会的取組に対する必要性	
ー1	自殺対策の社会的取組の必要性の理由	
39	自殺についての考え方	
40	自殺報道への関心内容	
41	身近な人の「うつ病サイン」に気づいた時の受診の勧め	
42	自分自身の「うつ病サイン」に気づいた時の受診意向	
ー1	上の間で「わからない」と回答した理由	
43	産後うつ病についての認知状況	

4 4	自殺対策のために必要と思う自分自身の取組	
4 5	自殺対策に対する自由意見	
4 6	コロナによる生活やこころの健康への影響	削除
－ 1	コロナの影響の内容	削除
－ 2	コロナの影響について相談した機関	削除

(自殺総合対策連絡会資料)

令和 8 年 9 月 1 8 日
京都市障害保健福祉推進室

令和 7 年の自殺者数（確定値）

- 令和 8 年 3 月、国から、令和 7 年（1 月～12 月）の全国の自殺者数（警察庁統計（確定値））について 19,188 人（前年比 1,132 人（5.6 ポイント）減）となったことが発表された。
- ※ 統計を開始した昭和 53 年以降、初めて 2 万人を下回り、最少の人数
- このうち、本市の自殺者数は 187 人で、前年比 9 人（4.6 ポイント）減となっている。
- ※ 令和元年の 186 人に次ぐ、これまでで 2 番目に少ない人数
- また、全国の小中高生の自殺者数が過去最多の 538 人（前年比 9 人（1.7 ポイント）増）となった。
- ※ 小中高生の自殺者数のうち、本市の内訳は国から発表されていないため不明

<近年の本市及び全国の自殺者数の推移>

	本市		全国	
	自殺者数（前年比）	自殺死亡率	自殺者数（前年比）	自殺死亡率
平成 30 年	201 人（△10 人）	14.20	20,840 人（△481 人）	16.4
令和元年	186 人（△15 人）	13.17	20,169 人（△671 人）	15.9
令和 2 年	200 人（+14 人）	14.19	21,081 人（+912 人）	16.7
令和 3 年	202 人（+2 人）	14.42	21,007 人（△74 人）	16.7
令和 4 年	223 人（+21 人）	16.06	21,881 人（+874 人）	17.5
令和 5 年	241 人（+18 人）	17.40	21,837 人（△44 人）	17.6
令和 6 年	196 人（△45 人）	14.21	20,320 人（△1,517 人）	16.4
令和 7 年	187 人（△9 人）	13.61	19,188 人（△1,132 人）	15.6

※ 自殺死亡率 … 人口 10 万人当たりの自殺者数

- 本市の自殺者数の傾向分析は、以下のとおり
 - ◆ 年齢ごとの傾向
 - 前年と比較し、20 歳代以下、40 歳代～60 歳代が減少
 - ※ 20 歳未満△2 人、20 歳代△15 人、30 歳代+15 人、40 歳代△2 人、50 歳代△5 人、60 歳代△12 人、70 歳代+1 人、80 歳以上+11 人
 - ◆ 男女ごとの傾向
 - 前年と比較し、男性は増加、女性は減少
 - ※ 男性+9 人、女性△18 人
 - ◆ 職業ごとの傾向
 - 前年と比較し、有職、無職とも減少
 - ※ 有職△4 人、無職△2 人（学生・生徒等△1 人、無職者△1 人（主婦・主夫△1 人、失業者△1 人、年金・雇用保険等生活者+4 人、その他の無職者△3 人）、不詳△3 人

(別紙)

○自殺者数・月別（人）

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
京都市	R7	17	12	18	18	20	11	15	15	18	17	14	12	187
	R6	15	14	10	15	26	19	19	14	16	23	11	14	196
	増減	2	△ 2	8	3	△ 6	△ 8	△ 4	1	2	△ 6	3	△ 2	△ 9
全国	R7	1,640	1,415	1,662	1,729	1,761	1,686	1,626	1,522	1,673	1,620	1,455	1,399	19,188
	R6	1,688	1,559	1,894	1,903	1,853	1,722	1,770	1,623	1,701	1,650	1,586	1,371	20,320
	増減	△ 48	△ 144	△ 232	△ 174	△ 92	△ 36	△ 144	△ 101	△ 28	△ 30	△ 131	28	△ 1,132

○自殺者数・年齢男女別（人）

			自殺者数	年齢（10歳階級）別								
				20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳
京都市	R7	総数	187	7	28	32	30	30	13	23	24	0
		男性	126	3	19	25	20	21	9	12	17	0
		女性	61	4	9	7	10	9	4	11	7	0
	R6	総数	196	9	43	17	32	35	25	22	13	0
		男性	117	2	21	13	19	25	16	11	10	0
		女性	79	7	22	4	13	10	9	11	3	0
	増減	総数	△ 9	△ 2	△ 15	15	△ 2	△ 5	△ 12	1	11	0
		男性	9	1	△ 2	12	1	△ 4	△ 7	1	7	0
		女性	△ 18	△ 3	△ 13	3	△ 3	△ 1	△ 5	0	4	0
全国	R7	総数	19,188	830	2,412	2,293	2,968	3,743	2,406	2,337	2,160	39
		男性	13,176	401	1,566	1,618	2,193	2,702	1,703	1,573	1,386	34
		女性	6,012	429	846	675	775	1,041	703	764	774	5
	R6	総数	20,320	800	2,465	2,399	3,214	3,799	2,584	2,685	2,346	28
		男性	13,801	370	1,546	1,717	2,366	2,684	1,812	1,799	1,483	24
		女性	6,519	430	919	682	848	1,115	772	886	863	4
	増減	総数	△ 1,132	30	△ 53	△ 106	△ 246	△ 56	△ 178	△ 348	△ 186	11
		男性	△ 625	31	20	△ 99	△ 173	18	△ 109	△ 226	△ 97	10
		女性	△ 507	△ 1	△ 73	△ 7	△ 73	△ 74	△ 69	△ 122	△ 89	1

○自殺者数・職業別（人）

		自殺者数	職業別								不詳
			有職	無職	学生・生徒等	無職者	主婦・主夫	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	
京都市	R7	187	68	118	19	99	5	9	58	27	1
	R6	196	72	120	20	100	6	10	54	30	4
	増減	△ 9	△ 4	△ 2	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	4	△ 3	△ 3
全国	R7	19,188	7,875	10,915	1,082	9,833	692	1,019	4,959	3,163	398
	R6	20,320	8,092	11,877	1,077	10,800	870	1,114	5,492	3,324	351
	増減	△ 1,132	△ 217	△ 962	5	△ 967	△ 178	△ 95	△ 533	△ 161	47